

令和 6 年度活動計画

令和 6 年度（令和 6 年 7 月 1 日～令和 7 年 6 月 30 日）の活動計画は以下のとおりです。

基本方針

令和 5 年 5 月に 5 類感染症に移行したことから少しずつではありますが、従来型の自主活動を再開できる状況が整って参りました。令和 6 年度の NPO の活動については、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮を払いつつ、令和 5 年度に実施した受託業務の継続受注に向けた取り組みやオンラインを活用した講習会等の情報発信、新たな取組としての環境学習関連や有明・八代海の環境保全・防災関連に関わる活動等に取り組んで参ります。

今後とも当 NPO 活動へのご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

1. 令和 6 年度活動計画

1-1 特定非営利活動に係る事業

1-1-1. 海域、陸域の環境及び国土保全に関わる調査・研究

(1) オンライン講習会（対面・Web 形式）の企画・開催

令和 3 年 2 月より「有明海・八代海沿岸海域の再生と持続的な地域創生のために」と題して、「八代海再生へのシナリオ」を教材として、3 部構成で開催しておりますオンライン講習会の最終章である「第 8 回八代海をいつまでも！」を企画し、開催いたします。
会員の皆様のご参加をお待ち致しております。

(2) 令和 3 年 2 月から令和 6 年度までに開催して参りましたオンライン講習会の講演資料を加筆・校正し、再編集した「八代海再生へのシナリオ」副本の編纂、発行に向け取り組んで参ります。

(3) 環境保全・防災分野の新たなモデルとして、NPO と官との連携によるモニタリングシステムの構築・運営に関する調査研究（環境再生機構：地球環境基金等への応募） 近年、激甚化・常襲化し多大な被害を発生させる豪雨により有明海・八代海域に流入する濁水や流木等の浮遊物問題が水面利用や海域環境に甚大な影響を与えています。これらの課題に対して、適切かつ効率的な対応を図るための浮遊物拡散状況モニタリングシステムの構築とともに海域環境保全監視の地域環境プラットフォーム形成に取り組んで参ります。

1-1-2. 環境の再生・維持及び防災に関わる地域社会支援活動

(1) 熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムへの取り組み

当フォーラム活動の事務局の一員として主体的に取り組んでいくとともに、現在、鋭意活動中の二つのプロジェクト「活動 PR 戦略プロジェクトチーム」及び「八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム」活動を支援して参ります。

1-1-3. 海の交流事業と広報活動に関わる企画・運営【シンポジウム開催】

(1) シンポジウムの企画・開催

オンライン講習会 3 部作として開催して参りました「有明海・八代海沿岸海域の再生と持続的な地域創出のために」をテーマに、これまでの活動取り組みの総括や関係行政機関の取り組みの進展、今後の課題等について意見交換や関係者間の情報交換・交流の場としてシンポジウムを企画し、開催に向け取り組んで参ります。

- (2) 環境学習 “熊本の干潟を守り（隊）”（干潟フェスタ復活）関連の取り組みに向けた検討
当NPOでは、自然豊かな熊本港周辺干潟（なぎさ線・野鳥の池）を環境学習のフィールドとして、平成 27 年度（16 回開催）まで、毎年多くの皆様の協力の下、干潟フェスタを企画・開催して参りました。令和 6 年度の環境学習関連の自主事業活動の一環として、干潟フェスタの再開に向けた検討に取り組んで参ります。

1-2. その他の事業

- (1) 「八代海再生へのシナリオ」書籍の販売

これまでの研究成果や最新の科学技術的な知見を網羅し“八代海の真の再生”に資することを目標に編纂・製本した「八代海再生へのシナリオ」を、ご提供（印刷・製本・郵送費のみを徴取）して参ります。

※「八代海再生へのシナリオ」 全 373 ページ／巻末資料集：CD-R 1 枚

印刷・郵送費：3,500 円/冊（税込み）：提供方法・当NPOのホームページより

- (2) 情報共有と発信（広報活動）

情報発信の基盤として、NPOみらい有明・不知火のホームページの更新頻度を上げ会員の皆様への情報発信及び各イベント参加の呼び掛けなど情報の鮮度や掲載内容の充実・向上に取り組んで参ります。 URL <http://www.mirai-ay.or.jp>